

11. 真庭市図書館みらい計画 実施状況

「真庭市図書館みらい計画」(令和3年(2021年)策定)では、図書館運営の評価方法として、①実貸出利用率、②市民、団体、学校との協働事業の内容と開催数と参加人数の推移、③市民による評価点と課題、の3つを設定しています。①実貸出利用率は、年間1度でも図書館で資料を貸出しした人の数が人口に占める割合で、全国的に高いレベルの図書館運営を行っている自治体での数値(30%)に近づけていくこととしています。

以下、①,②を見るための数値として、(1)実貸出利用率(p.23)、(2)市民、団体、学校との協働事業の内容と開催数と参加人数(p.25)、③の評価点や課題の洗い出しに必要な情報として、(3)図書館そだて会議(p.28)、(4)「真庭市図書館みらい計画」の取り組み状況(p.29)を掲載します。

(1) 実貸出利用率 (再掲)

	人口(a)	貸出者数(b) [市民のみ重複なし]	実貸出利用率 (b)÷(a)×100
R5(2023年度)	41,260人 (R6.4.1)	4,396人	10.7%
R4(2022年度)	42,102人 (R5.4.1)	4,681人	11.12%
R3(2021)年度	43,094人 (R4.4.1)	4,827人	11.2%
R2(2020)年度	43,915人 (R3.4.1)	4,688人	10.68%

○ 実貸出利用率について

久世図書館が 2023 年 11 月 1 日から 2024 年 2 月 29 日まで建物の空調工事により場所を移動し大幅に縮小して開館したため、来館者数が前年と較べて 7,000 人近く減少しました(p.9)。

また市民の個人貸出者数は、令和 4 年度は 50,260 人で、R3 年度の 46,829 人からは増加したものの、令和 5 年度は 45,326 人と減少しており、実貸出者数(一年間に一度だけ貸出をした人数)だけでなく、延べ貸出者数も減少している状況です(p.10)。

いずれも市内で中央図書館に次いで利用される久世図書館の縮小開館の影響があると思われるため、R6 年度の推移を見守りたいと考えています。

(2) 市民、団体、学校との協働事業の内容と開催数と参加人数

(p.12~21「事業報告」で◎印をつけています)

館名	事業：協働相手	回数	参加者数
中央	「えほんではなそ！（絵本塾から名称変更）」：市民	13	67
	「まにわ図書館ラジオ」：市民	2	-
	「おはなしひろばクレヨン」(読み聞かせなど)：市民	12	333
	「朗読会」(広報の音訳など)：市民	10	57
	「月イチ映画会」：市民	12	808
	アート展示：市民	5	-
	「コタツのゲーム研究会」：市民	9	-
	「布えほんをつくろう」：市民	9	26
	ウクライナの伝統工芸展示： ウクライナ人アーティスト Alona Mastasa Chyzhenko さん	5	-
	聞き書き甲子園報告会：NPO 法人共存の森ネットワーク	1	52
	中央図書館開館5周年記念関連イベント：市民、商店、津 黒いきものふれあいの里	7	-
	岡山県立博物館テーマ展「美作勝山城の実態に迫る」 オンライン展時解説会：県立博物館	1	28
	通信で学ぶ学生・社会人を応援する事業準備会：市民	1	12
	たまねぎ祭り：放課後等デイサービス	1	-
	勝山もちより盆踊り：市民有志	1	-
	「まにわととよなか まじわるミュージック」： 大阪音楽大学	1	30
	ないまぜマルシェ：市民	1	-
	上映会「ガザ 素顔の日常」：市民有志	1	23
	真庭冬季七輪ピック：真庭日本語サークル	1	40
	図書館おひなスタンプラリー：勝山お雛祭実行委員会	1	366
中央図書館 ほんの一：フリースクール	1	55	
そのほか：林業バイオマス課,学校,子ども園,子育て支 援課,真庭ケーブルテレビ	17	-	
北房	「北房から世界を見てみよう」：市民	10	94

館名	事業：協働相手	回数	参加者数
	「おもしろ！算数教室」：市民	5	92
	「みんな集まれ えほんのじかん」：市民	10	28
	「スマイルキッズ」(読み聞かせなど)：市民	12	39
	「北房古典をたのしむ会」：市民	22	243
	ほくぼう寺子屋事業「てらこや教室」：振興局	3	68
	そのほか：学校,こども園	5	84
落合	「親子スウィートブック事業」(読み聞かせなど)：市民	8	30
	「わくわくブック」(読み聞かせなど)：市民	11	23
	工作教室,手芸教室：市民,振興局	2	39
	そのほか：学校	2	21
久世	「ぽかぽかえほんばこ」(読み聞かせなど)：市民	48	117
	「おはなし列車」(読み聞かせなど)：市民	48	212
	「どうぶつしょうぎ」：市民	12	14
	そのほか：市民,学校	10	109
湯原	プチもちより図書館：市民	1	-
	交流スペースでのカフェ出店：商店	27	-
	湯原図書館の七夕「帯姫と彦帯」：市民	1	-
	湯原こども園七夕：こども園	1	14
	七夕イベント：市民	1	20
	「沼田曜一生き様展」関連図書展示：市民	1	-
	「山中一揆に浸る・語る」関連図書展示：市民	1	-
	ハンザキ秋のパンマルシェ：振興局	1	-
	きょうのワンゴ募集企画：「図書館そだて会議」発	1	-
	バレンタインスイーツマルシェ：振興局	1	-
	苔玉ワークショップ：振興局	1	13
そのほか：学校	1	1	
美甘	「本でおしゃべり会」：「図書館そだて会議」発	3	17
蒜山	「おはなしの時間 みるく」：市民	12	49
	「ハートフルおはなし会」：市民	12	18
	「お話の日 昔話の語り」：市民	24	103

館名	事業：協働相手	回数	参加者数
蒜山	図書館であそぼ：振興局	8	152
	天の川をつくろう：中学校,高校	1	225
	ことりのオーナメントづくり：「図書館そだて会議」発	1	12
	アマルトクリーム&マスクプレートづくり：「図書館そだて会議」発	1	11
	そのほか：学校,振興局	6	78

○ 市民、団体、学校との協働事業の内容と開催数と参加人数について

2023年度は中央図書館が開館5周年を迎えました。これを記念して開催したイベントのなかには、図書館が企画したものほかに、市内で同じく開業や始業から5周年を迎える個人事業主の方々から、合同でお祝いする会を提案していただき、一緒に実施しました。このほかにも、勝山地区の市民有志がコロナ禍で中止していた盆踊りを中央図書館前の駐車場で再開させるにあたり、一緒に盛り上げてほしいと声をかけていただき、「勝山もちより盆踊り」を共催しました。また、ウクライナから日本へ避難して来て、総社市の臨時職員をされている方からの提案で、ウクライナの伝統工芸を紹介する展示を中央図書館の飲食スペースで行いました。美しい工芸品を通じてウクライナの文化を知るきっかけとなりました。市民によるパレスチナ・ガザ地区に関する上映会とトークイベントの共催も行い、真庭にしながら海外で起きていることを身近に感じ、考える機会をつくることができましたと考えています。

地区館では、湯原図書館と美甘図書館、蒜山図書館で「図書館そだて会議」での提案から、図書館へ足を運んでもらうための企画(湯原、美甘)や、図書館そだて会議の参加者が講師のワークショップ(蒜山)などの企画が生まれました。(「図書館そだて会議」発と表記しています)

いずれも、図書館が企画して市民に来てもらう／参加してもらう、というだけでなく、市民からの発案を受けて一緒にイベントや取り組みを企画・運営していったものでした。今後もこのような取り組みを広げていきます。

(3) 図書館そだて会議

各館での実施状況です。話し合いの内容は図書館ホームページで公開しています。

北房図書館 2024年1月6日(土)～31日(水) のべ参加者 15人 ※ 来館者やボランティアに個別に聞き取る方法で実施
中央図書館 2024年1月20日(土)午後5時30～6時45分 参加者 24人 ※ 「中央図書館 ほんの一日」のプログラムの一つとして開催
美甘図書館 2024年1月24日(水)午後3時35分～4時5分 参加者 10人 ※ 「本でおしゃべり会」終了後に開催
落合図書館 2024年2月7日(水)午後4時～6時 参加者 9人
蒜山図書館 2024年2月8日(木)午後1時30分～3時 参加者 15人 ※ 出張カフェとあわせて開催
湯原図書館(図書館そだち会議) 第1回 2023年4月28日(金)午後2時～3時30分 参加者 9人 第2回 2024年2月9日(金)午後3時～4時30分 参加者 7人
久世図書館 2023年度は実施できず

○「図書館そだて会議」について


各館とも会議への参加者層を広げるために工夫をしており、イベントを同時開催したり、定期的集まっている読書会の参加者に声をかけるなどしています。

今年度は、「図書館からのご相談」という名称のアンケートを実施して、会議当日に来られない人たちにも、今の図書館の好きなおところ、こうなって欲しいと思うこと、もっと多くの人に使ってもらうためにしたらよい工夫、普段図書館でやっていることを書いてもらい、この回答を会議当日に参加者と一緒に見ながら話をしました。


美甘図書館や蒜山図書館では、この会議から企画が生まれて実現しています。図書館への要望をお聞きする会ではなく、参加者と図書館と一緒に図書館をつくっていくための場となってきている様子がうかがえます。


(4) 「真庭市図書館みらい計画」取り組み状況

【○】：全館で実施または全館に関わること、【・】：一部の館での取組[館名]

(1)公共図書館としての存立基盤の整備	
みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【市民参画・市民協働】 図書館運営の評価への市民参画と協働による図書館育てを進めます。</p> <p>□図書館長の諮問機関である図書館協議会開催 □「図書館そだて会議」を最低年 1 回開催</p> <p>→「市民とともに図書館を育てている。」</p>	<p>○第 1 回図書館協議会開催(R5.8.31) ○第 2 回図書館協議会開催(R6.2.27) ○「図書館そだて会議」を開催</p> <p>北房図書館：R6.1.6-31(個別に聞き取り) 中央図書館：R6.1.20 美甘図書館：R6.1.24 落合図書館：R6.2.7 蒜山図書館：R6.2.8 湯原図書館：R5.4.28,R6.2.9 久世図書館：実施できず</p>
<p>【暮らしの課題解決】 市民の生活や仕事に関わる様々な課題の発見と解決の支援を行います。</p> <p>□資料の貸出、レファレンスの実施 □関連資料の展示、講座・講演会等の開催 □庁内関係部局や市民団体等と連携し、まちで何が起きているか、何が起きたらよいか、何を知ってほしいか、何が解決できるかを考えた選書と情報収集と提供</p> <p>→「市民が自らの課題に気づき、解決に向けた行動を取っている。」</p>	<p>○資料の貸出、レファレンスの実施 ○毎月「認知症」「防災」など身近なテーマや知って欲しいテーマ、イベントに合わせての資料の展示・貸出を実施 ○除籍図書の譲渡(「リサイクルマーケット」) ・お金の教室「資産運用について」開催 (R6.2.12)[中央]</p>
<p>【図書館から外(地域)へ】 自動車文庫「ブックるんまにわ」や配本車の機動性を活かして図書館サービスを市全域へ波及させます。</p> <p>□地域の要望ふまえた自動車文庫の巡回先と配本先の見直しや決定 □市民が集まるイベント等への自動車文庫の参加</p> <p>→「図書館が地域で図書館利用のきっかけを作り、知る喜びを広めている。」</p>	<p>○ブックるんまにわ「勝山もみじまつり」(R5.11.5)、 「猫フェス@旧別所小学校」(R6.2.17,18)へ出動 ○運行基準の見直しを実施。 真庭市内の子どもが通う施設や市内で開催されるイベントなど自動車文庫が訪問することにより地域の人びとの交流が生まれると考えられる場所にも巡回することを明記</p> 

みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5年度までの取組
<p>【まちづくり】 市の政策立案・決定、行政事務の執行や改善および市民による市の施策の理解と市政への参加を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> □市職員や議員への資料や情報の提供、レファレンス □市主催の講座や催事等に資料・情報の提供 □図書館の行政資料コーナーの整備 <p>→「□市職員が図書館を活用して市民と地域の課題を発見、解決している。</p> <p>○二元代表制という地方自治の原則により議員による適切な行政運営のチェックが行われている。</p> <p>○市民の意見が市政に反映され、協働によるまちづくりが行われている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○庁内 LAN 掲示板上で市職員向けに新刊図書紹介 ○各部局で作成した資料の寄贈依頼実施 ・毎月、議会図書室への図書貸出(100冊)[中央] ・真庭市発達支援センターと連携して世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間に関連した図書の展示と貸出[中央](R5.4) ・「令和5年度まにわ市民大学講座」にて関連図書の展示と貸出[落合](R6.2.12)
<p>【デジタルサービス】 市民が使いやすい図書館システムを維持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> □図書館ホームページと蔵書検索システムの整備 □電子メールによるレファレンスの受付 □デジタル化した資料の提供の検討 <p>→「市民が必要な情報や読みたい本を容易に探すことができ、時間や場所の制限なく図書館サービスを受けている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市立図書館蔵書管理システムの更新 (R5.11.13-16) ○電子メールによるレファレンスの受付
<p>【ICTメディアリテラシー向上】 紙資料はもちろん、様々な媒体の資料から市民が学び、情報を収集・発信できる環境を整備するよう努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> □館内に設置している情報端末の利用支援 □タブレットやアプリケーションの使い方、SNSの始め方、インターネット検索についての講習会等の開催 <p>→「図書館が多様な学びや読書、情報ニーズに対応することで市民の知る権利、学ぶ権利を保障し、個人の自立を支えている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法律情報オンラインデータベースの提供[中央] ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供[中央]
<p>【熟年者】 熟年者の生きがいを支え、活動と交流の場や情報の提供、学びを支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> □資料の展示、講座・講演会、上映会等を開催 □庁内関係部局や市民団体、個人と連携による情報提供 □認知症への理解を深める企画の開催や資料の充実 <p>→「熟年者が体力や健康状態にあわせて学び、知る体験を続け、地域と関わり続けられる環境が整っている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな活字の図書の収集と貸出 ○朗読 CD の収集と貸出 ・真庭いきいきテレビ主催のスマホ教室を開催 [中央](R5.10.7,11/4) ・ないまぜマルシェで認知症サポーターによるブース設置[中央](R6.9.30) ・DVD 上映会で懐かしの名作映画の上映 [中央・久世・蒜山] ・「本でおしゃべり会」実施[美甘] ・「もちより音楽カフェ」開催[中央](R6.6.25,12.9)

みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【多文化共生】 外国にルーツのある市民や真庭市に滞在する外国人が地域住民と交流しながら安心して暮らし、過ごせるよう支援します。</p> <p>□利用案内や掲示、表示への多言語の対応 □「やさしい日本語」の活用を検討 □海外の食文化や芸術・芸能等を紹介する企画の実施 □庁内関係部局や市民団体、個人と連携し、現状やニーズの把握を行う</p> <p>→「図書館が多様な学びや読書、情報ニーズに対応して市民の知る権利、学ぶ権利を保障し、個人の自立を支えることで、持続可能な社会がつけられている。」</p>	<p>○英語版利用案内の作成 ○外国語絵本の収集と貸出 ・翻訳機をカウンターに設置[中央] ・「インド映画祭」の開催(R5.11.17-19) [中央] ・ウクライナの伝統工芸を展示(年4回)[中央] ・まにわ日本語サークルの国際交流カフェ開催 [中央]</p> 
<p>【図書館利用が困難な人へのサービス】 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（バリアフリー法）」をふまえ、心身の障害、学習障害、家庭環境が複雑な子ども、LGBTs、高齢者、妊産婦等様々な理由で図書館の利用が困難な市民に必要な情報を届けます。</p> <p>□庁内関係部局や市民団体や個人と連携し、現状やニーズの把握を行う □図書館ホームページのアクセシビリティの向上や図書館からの出張サービス等、自ら図書館へ足を運ぶことができない人のために、来館しなくても利用できるサービスの検討</p> <p>→「図書館が多様な学びや読書、情報ニーズに対応することで市民の知る権利、学ぶ権利を保障し、個人の自立を支えることで、持続可能な社会がつけられている。」</p>	<p>○大きな活字の図書、LLブック、点字図書、オーディオブックの貸出 ○ルーペ、リーディングトラッカーなど読書補助器具の設置 ○布絵本の収集と貸出 ・ボランティアによる『広報真庭』の音訳版作成[中央] ・映画祭で手話通訳、要約筆記の提供[中央] ・放課後等デイサービスと「たまねぎ祭り」を開催 [中央](R5.7.1) ・「布えほんをつくらう」実施[中央](R5.8～)</p>
<p>【広報・発信】 図書館がどんなところか、何に取り組んでいるか、何ができるところか等を分かりやすく知らせます。</p> <p>□図書館だよりや図書館ホームページ、公式 SNS 等の活用</p> <p>→「市民が図書館の役割や使い方を知り、図書館を自分のものとして感じ、使いこなしている。」</p>	<p>○SNS、HP、公式 Youtube チャンネル、広報真庭、告知放送での情報発信 ○公式 LINE、公式 twitter 運用 ○図書館だよりの発行 ○小学校からの見学や職場体験の受け入れ ○中学生の「チャレンジワーク」受け入れ ○小中学校を対象に図書館見学会を実施 ○図書館名を表記する際の共通フォント指定 ○全館共通イベントの開催</p>

みらい計画（基本方針・具体化計画・めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【人材の確保・育成】 継続的・長期的な視点を持って図書館を運営する職員を確保、育成します。 職員が司書としての経験を積み、図書館に求められる新たな役割に対応できるよう常にスキルアップしていける環境を整えます。</p> <p><input type="checkbox"/> 図書館の専門研修(オンラインによるもの含む)への職員派遣 <input type="checkbox"/> 新しい情報技術に関する研修受講など情報収集や活用に努める</p> <p>→「司書が市民一人ひとりに適切な情報を提供・案内し、市民が活躍できるよう支援するとともに、自らも市民とともに地域の課題解決に向けて行動している。」</p>	<p>○日本図書館協会中堅職員ステップアップ研修講座1を受講・修了(司書1名) (R5.10.2-12.12)</p> <p>○広報、写真の撮影方法、絵本の読み聞かせについて研修講師を招いて研修会実施</p> <p>○バリアフリーサービス、著作権、図書の除籍などに関する研修の受講</p> 

(2)子どもの学びへの能動的な貢献(子どもの読書活動推進)

みらい計画（基本方針・ <input type="checkbox"/> 具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【学校図書館の機能強化】 学校教育課、教育総務課、小・中学校、学校司書等と連携し、市立図書館と学校図書館との蔵書の効果的な活用に向けた取り組みを進めます。</p> <p><input type="checkbox"/> 学校図書館蔵書のデータベース化 <input type="checkbox"/> 学校図書館への図書館システム導入(蔵書管理、貸出返却作業等の電算化) <input type="checkbox"/> 学校間、学校と市立図書館間の運搬システム導入 <input type="checkbox"/> 学校司書配置のあり方を検討</p> <p>→「学校図書館が電算化されて、児童・生徒と教員が市内の全学校図書館と市立図書館の蔵書を横断的に検索し、読書や学習活動に活用している。学校司書による授業参画が充実している。」</p>	<p>○小中学校の図書室に蔵書管理システム導入 (R5.11.20-24)</p> 
<p>【学校図書館との連携】 学校図書館が児童生徒や教員にとっての、読書活動の拠点としての「読書センター」、授業に役立つ資料を備え学習支援を行う「学習センター」、情報活用能力を育む「情報センター」であることを教員だけでなく、保護者や市民等に周知します。</p> <p><input type="checkbox"/> 学校図書館を活用した調べ学習、読書活動の支援 <input type="checkbox"/> 学校司書の研修実施 <input type="checkbox"/> 学校図書館活用をテーマにした講座等の開催</p> <p>→「学校図書館法に定められている、学校図書館の目的を、子どもに関わる人たちが共有し、学校図書館が活発に利用されている。」</p>	<p>○学校司書連絡会の実施(毎月)</p> <p>○学校司書と市立図書館司書の合同会議を年度初めに開催(R5.4.20)</p> <p>○学校司書と学校図書館担当教員との合同研修会実施。市立図書館への視察(R5.8.25)</p> <p>○図書の除籍に関する研修会実施(R5.10.25)</p>

みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【子どもの学びを支援】 学校と連携して子どもが読む力、調べる力、多様なメディアを使いこなす力をつける支援をします。</p> <p>□調べ学習の支援 □子ども対象の ICT メディアリテラシーやプログラミングの講座等を実施 →「子どもが生涯にわたって読み、調べ、多様なメディアを使いこなす力を身につけている。」</p>	<p>○学校図書館を通じた児童生徒への図書の貸出 ・「湯原こども教室」で図書館を利用[湯原] ・ほくぼう寺子屋事業 [北房] ・サマースクールへの協力[美甘、蒜山]</p>
<p>【教員支援・授業支援】 教員が主体的・対話的で深い学びの視点から授業を行えるよう、支援します。</p> <p>□教員向け資料の収集等の検討 →「教員が学校司書と連携して授業づくりを行っている。」</p>	<p>○学校図書館を通じた児童生徒への図書の貸出 ○GIGA スクールやプログラミング関連図書の購入 ○SDG s 関連、プログラミング、防災など教材として活用できる図書の収集</p>
<p>【図書館から外(地域)へ】 子どもが過ごす場所に本を届け、身近に本にふれる機会をつくります。</p> <p>□保育園、幼稚園、こども園、放課後児童クラブ等への自動車文庫の乗り入れや団体貸出の充実 →「子どもに本の豊かな世界を届けられている。」</p>	<p>○こども園や幼稚園、放課後児童クラブ、小学校、白梅塾への配本や読み聞かせの実施 ○小学校、放課後児童クラブへの自動車文庫巡回</p>
<p>【子育て支援】 幼稚園、保育園、こども園のほか健康推進課、子育て支援課、真庭市愛育委員会等、乳幼児や保護者に関連する関係機関との連携を進めながら、図書館における子育て支援体制を整えます。</p> <p>□乳幼児連れでも気兼ねせず過ごせる環境づくり □ブックスタート事業への協力 □これから親になる人や子育て中の保護者向けの講座や図書館を利用する際の託児の実施 □保育士、幼稚園教諭を対象とした図書館サービスの充実 →「地域ぐるみで子育てを応援していることが市民に伝わり、真庭で子どもを産み、育てることへの安心感が生まれている。」</p>	<p>○ブックスタート事業用リーフレット作成への協力 ・こども園による図書館見学[湯原] ・図書館イベントへこども園の園児を招待[湯原] ・美甘こども園での読み聞かせ [美甘] ・未就学児と保護者を対象とした「親子スイートブック事業」の実施 [落合] ・生涯学習課&愛育委員「おしゃべり広場」への会場提供[中央] ・月 1 回子育て相談会実施[久世] ・子育て支援課「パパママクラス」への協力 [中央、落合] ・絵本コーナーに保護者向けの本を一部排架[久世]</p>

みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【乳幼児とその保護者への働きかけ】 これから親になる人、おなかの中の赤ちゃんとその家族、乳幼児とその保護者がわらべうたや絵本と出会い、親しむ機会を増やします。</p> <p>□ボランティアと協力して図書館でおはなし会を開催 □乳幼児と保護者が集まる場所へ出向き、読み聞かせを行う機会を増やすことを検討</p> <p>→「乳幼児の心とことばの豊かな発達には、乳幼児期から本とふれ合い、周りの人に本を読んでもらう温かい体験が大切だということが保護者に伝わっている。」</p>	<p>○図書館で絵本の読み聞かせや手遊び、身体遊びなどを行う「おはなし会」の実施 [中央、北房、落合、久世、湯原、蒜山] ・家庭教育支援チーム「ふらっと」が主催する「おしゃべり広場」での絵本の読み聞かせ[中央] ・絵本の読み聞かせ講座開催（R6.3.3）[北房] ・子育て支援課「パパママクラス」への協力 [中央、落合] ・林業バイオマス課と共催で木育イベントの開催 [中央](R5.9.3)</p>
<p>【高校生や 10 代の人】 市民団体や個人と協力して、市内の高等学校との連携を深め、高校生や 10 代の人々が将来の可能性を広げるとともに、主体的に地域と関わる機会をつくることで地域への愛着を育めるよう支援します。</p> <p>□市内の高校と連携し企画展示等の開催 □ICT メディアリテラシー教育、キャリア教育、地域学への支援 □高校生が講師となる体験会や勉強会等、企画段階から参画できる事業を検討 □高校生や 10 代の人々の興味関心に応えられるような資料・情報・場所（メイカースペース）の提供を検討</p> <p>→「多世代交流が生まれ、高校生や 10 代の人に地域への愛着が育まれている。」</p>	<p>・中学生のチャレンジワークを受入[中央、北房、湯原] ・勝山高校 1 年生校外研修を受入[中央] (R5.6.14) ・「聞き書き甲子園」報告会を共催[中央](R6.5.4) ・中学生、高校生限定のハロウィンイベント開催 [蒜山](R5.10.8-28) ・勝山高校図書室へ訪問。連携事業の打合せ [中央](R5.12.20) ・10 代以上を対象とした「司書のお仕事体験」実施 [中央] ・大阪音楽大学の学生による企画「まにわととよなまじわるミュージック」開催[中央](R5.9.9) ・中学校と高校用に図書館だよりを発行[落合]</p>
<p>【子どもの居場所】 図書館を子どもが安心して過ごせる居場所の一つにしていきます。</p> <p>□子どもの成長と興味にあわせた幅広いジャンルの資料を収集 □図書館の 10 代の人向けのコーナーへの多様な資料の充実を図る □子どもが企画段階から参画できる事業の実施 □一人でも友だちとでも自由に過ごせるスペースの整備</p> <p>→「子どもの成長を地域で見守っている。」</p>	<p>○多様な児童書の収集 ・キッズコーナーに木のおもちゃを置き、子ども同士や親子で楽しめる場を提供[湯原・中央] ・児童書コーナーに工作コーナー常設[中央]</p> 

(3)地域資源の再評価と新たな価値の創出	
みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【地域の個性と財産の再発見・ビジネス、起業支援】 真庭のひと・こと・ものを図書館の地域資料とするとともに、そこから新しい産業やビジネスが生まれるよう支援します。</p> <p>□様々な特技やスキルを持つ市民の情報を図書館でデータベース化し、必要とする人とつなげる</p> <p>□各図書館の「特色ある蔵書コーナー」の充実（テーマの再検討含む）</p> <p>□地元の多彩な産業や商業、伝統工芸の魅力を再発見するイベントやプログラムの開催</p> <p>→「真庭の7つの図書館がその地域になくてはならない図書館に育ち、真庭の魅力や新しい価値が図書館で蓄積、増幅している。」</p>	<p>○地域イベントのチラシを館内に設置</p> <p>・「野村昌子バルーンアート体験」開催[久世](R6.2.4)</p> <p>・「大宮踊」関連資料コーナーの設置 [蒜山]</p> <p>・市内ミニシアターとの共催で「ニューガーデン映画祭」の開催。マルシェ同時開催(R6.3.10-12)[中央]</p> <p>・地域住民が制作した郷土資料(植物関係)を寄贈していただき所蔵 [落合]</p> <p>・市民がおすすめの本を置いて貸出しもする「一箱図書館」設置[中央,湯原,蒜山]</p>
<p>【地域の個性と財産の継承】 市民や博物館、公民館等市内施設等との協働・連携により資料や映像、写真等のデジタルアーカイブ化を進めます。</p> <p>□他自治体の事例研究や地域情報化アドバイザーの活用等、郷土資料のデジタル化や活用の検討</p> <p>□MIT(真庭ケーブルテレビ)と連携し映像資料のアーカイブ化の検討</p> <p>□地域郷土資料を活用したイベントの開催等、デジタル化資料の活用方法の提案</p> <p>→「真庭の歴史や文化が次世代に引き継がれている。」</p>	<p>○地域おこし協力隊メンバーと共に「真庭市立図書館附属みんなの校歌研究室(真庭校歌研究室・MKK)」により校歌収集。まにわとしよかんチャンネルで公開。</p> <p>収集成果のお披露目イベント「校歌ジャンボリー開催」(R5.3.2)</p> <p>・岡山県立博物館とオンライン展示解説会を共催 [中央](R5.5.28)</p> <p>・勝山,富原の人をゲスト迎え・「まにわ図書館ラジオ」公開放送[中央](R5.6.25,12.9)</p> <p>・「100年前の植物標本展」開催(R5.7.26-9.18)[中央]</p> <p>・講座「菊池家の人びと」開催[北房](R5.6.18)</p> <p>・「北房平和の集い」開催[北房](R5.8.6,R6.3.10)</p> <p>・「勝山もちより盆踊り」共催[中央](R5.8.13)</p> <p>・山中一揆に関わるイベントや日本温泉協会シホジウム、地域出身人物の展示での関連図書展示 [湯原](R5.11.19)</p>
<p>【真庭×SDGs】 真庭市らしい SDGs を再発見し、発信します。</p> <p>□SDGs の目標で区分した現在の展示コーナーを見直し、身近な産業や市の取り組みを SDGs の取り組みとして捉え直す資料収集と企画展示</p> <p>→「SDGs の認知度がさらに向上し、市民が自分事として深く理解している。」</p>	<p>○OSDGs、ハートフルコーナー(ハリアフリー関連)の設置</p> <p>・「真庭のSDGs」コーナー設置[中央]</p> <p>・「100年前の植物標本展」開催(R5.7.26-9.18)[中央]</p> <p>・「植物標本づくり」連続2回講座実施(R5.7.29,8.20)</p>

(4)知的探究に応えるコンテンツ戦略	
みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【"真庭"の集積・ひと育て】 真庭のひと・こと・ものを図書館の地域資料とし、市民の学びに活かします。</p> <p>□真庭のひと・こと・もののデータベース化による、学びたい人と教えることのできる人のマッチングを行います →「図書館で真庭ならではの学びの場が生まれている。」</p>	<p>○市内の商店や会社、団体を紹介する資料の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝山,富原の人をゲスト迎え・「まにわ図書館ラジオ」公開放送[中央](R5.6.25,12.9) ・講座「菊池家の人びと」開催[北房](R5.6.18)
<p>【市民の学びの拠点】 資格や免許を取る、好きなことを究めたい等、学びたくなった時にいつでも学べるよう、資料と環境を整えます。</p> <p>□放送大学やMOOC(大規模公開オンライン講座)等の活用を検討</p> <p>□真庭市内、他自治体図書館、国立国会図書館等から資料を取り寄せて提供</p> <p>□情報探索方法の案内や専門機関の紹介</p> <p>□オンラインデータベース(新聞、法律・判例等)の充実を検討 →「市内のどこに住んでいても必要な資料や情報を手に入れることができ、市民の学ぶ権利が保証されている。」</p>	<p>○レファレンスサービス(調べものの支援)、協力貸出(他自治体からの資料取寄せ)の実施</p> <p>○学習スペースの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律情報オンラインデータベースの提供[中央] ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービス提供[中央] ・「古典を読む会」の開催[北房] ・「北房から世界を見てみよう」の開催[北房] ・「通信で学ぶ学生・社会人を応援する事業準備会」実施[中央](R5.5.17) ・放送大学公開講座「乳幼児の育ちを支える」開催[中央](R6.1.26)
<p>【情報環境の整備】 市民のインターネットアクセス環境を保証します。</p> <p>□図書館内の wi-fi 環境を整備</p> <p>□ノートパソコンやタブレット等の館内貸出等を検討</p> <p>□図書館での ICT メディアリテラシー講座、市民の学習会やオンラインイベント、遠隔プログラム受講等の実施 →「図書館が地方と都会とのデジタル・デバイド解消に貢献している。」</p>	<p>○全館に FREEwi-fi 完備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像シアターでの「インド映画祭」や「ニューガーデン映画祭」などでオンライントークイベント、会議室でもオンライン研修会を開催[中央]
<p>【多様な機関との連携】 市民の文化資本の獲得を支援します。</p> <p>□大学や美術館・博物館等社会教育機関等との連携による共同企画の開催を検討 →「図書館が地方と都会との文化的な格差の解消に貢献している。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県立博物館とオンライン展示解説会を共催[中央](R5.5.28) ・放送大学公開講座開催[中央](R6.1.26) ・市内ミニシアターとの共催で「ニューガーデン映画祭」の開催。マルシェ同時開催(R6.3.10-12)[中央] ・「勝山町並みお雛まつり」と連動した企画の実施(R6.3.1-5)

(5)市民が繋がる地域交流拠点創出	
みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【市民参画・市民協働】 市民に寄り添い、やりたい気持ちを受け入れ、後押しする図書館になります。</p> <p>□多彩な人材を巻き込み、市民発案によるイベントやプログラムの開催支援などを実施</p> <p>→「図書館が市民の新しい活動の場や、移住者や市民同士の新しい繋がりきっかけとなっている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「もちより図書館」の開催[湯原] ・大人向けの手芸や工作教室の開催[中央] ・読書会(3 団体)、将棋クラブに会場提供[久世] ・市民講師による「おもしろ算数教室」実施[北房] ・カルタ、百人一首大会実施[久世、北房] ・図書館そだて会議で市民と一緒に企画したイベントの開催[湯原、蒜山] ・5 周年記念プチマルシェ[中央](R5.5.5) ・「通信で学ぶ学生・社会人を応援する事業準備会」実施[中央](R5.5.17) ・「勝山もちより盆踊り」共催[中央](R5.8.13) ・市民有志によるパレスチナ、ガザ関連の上映会を共催[中央](R6.1.12)
<p>【コミュニティづくり】 市内の商店やカフェ等に本を介した交流の場をつくる支援を行います。</p> <p>□「まち並み図書館」設置者へのヒアリング、ウェブ上の地図への設置場所のマッピングや合同イベント等の検討</p> <p>→「まち並み図書館」へ訪れた人と設置者の交流や、「まち並み図書館」相互のつながりが生まれている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント（マルシェ）で関連本を展示[湯原] ・施設ロビーでのカフェ出店者のおすすめ本を展示[湯原] ・飲食スペースで定期的にテーブルゲームを楽しむ会「コタツのゲーム研究会」を開始[中央]
<p>【居場所づくり】 図書館で静かに過ごしたい、親しい人や司書と語り合いながら本を選びたい等、多様なニーズを持つ市民が心地よく過ごせる環境を整えるよう努めます。</p> <p>□館内レイアウトの工夫 □図書館の外スペースの活用の検討</p> <p>→「用事がなくても図書館に行ってみようと思う市民が増えている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食スペースや施設ロビーでのカフェやマルシェの出店[湯原、蒜山、中央、北房] ・施設ロビーでの資料展示 [蒜山] ・市民のおすすめ本を展示、貸出する、常設「一箱図書館」を設置[中央、湯原、蒜山] ・静寂読書室の設置[中央、湯原] ・図書館正面スペースでのイベント開催[中央] ・「本でおしゃべり会」の開催[美甘]
<p>【図書館から地域へ】 図書館から地域へ出向きサービスを展開します。</p> <p>□市民が集まる地域のイベント等への自動車文庫の参加</p> <p>→「図書館が図書館利用のきっかけをつくり、知る喜びを広めている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ブックるんまにわ「勝山もみじまつり」(R5.11.5)、「猫フェス@旧別所小学校」(R6.2.17,18)へ出動 ○運行基準の見直しを実施。真庭市内の子どもが通う施設や市内で開催されるイベントなど自動車文庫が訪問することにより地域の人びとの交流が生まれると考えられる場所にも巡回することを明記

みらい計画（基本方針・□具体化計画・→めざす姿）	R5 年度までの取組
<p>【デジタルサービス】 来館しなくても提供できるサービスメニューを増やします。</p> <ul style="list-style-type: none"> □動画配信「まにわとしょかんチャンネル」の充実 □オンラインでのイベントの開催 □地域郷土資料のデジタル化と公開の検討 <p>→「市民が災害時や感染症拡大時等の非常時だけでなく、平時でも時間や場所を問わず図書館を利用できる。」</p>	<p>○「まにわとしょかんチャンネル」のコンテンツの充実</p> <p>【再生リスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館イベント 真庭の歌・踊り・祭り おうちで楽しめるおはなし、手遊び、工作遊び まにわ図書館ラジオ 月イチ映画会 真庭市立図書館附属みんなの校歌研究室

○ 「真庭市図書館みらい計画」の取り組み状況について

2023年度の「図書館そだて会議」では、それぞれの館で「図書館は居心地がいい」「図書館に来て本を読んだり、集中して勉強したり、ホッと一息できる場としての魅力がある」といったご意見をいただきました。図書館協議会においても、この点を高く評価していただいています。また、「図書館運営の評価指標である実貸出利用率の数値を伸ばしていくことも大事ではあるが、数字にばかりとらわれ過ぎてはいけなのではないか」「単に本を貸し出すだけではなく、多世代の居場所として、市民交流の拠点として、さまざまな機能や活動があり、こうした実態を把握し、評価するための指標を探っていく必要があるのではないか」など図書館の評価に関わるご意見もいただいています。図書館としても、今後の課題ととらえています。